

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派・個人名）

彦根市議会 会派「夢みらい」

出席者 矢吹安子、森田 充、小川吉則

(2) 実施日：令和4年4月21日（木）

【1. 調査の目的】

(1) 調査の目的

北九州市漫画ミュージアム

北九州ゆかりの漫画家を中心に、漫画の仕組みを学び、7万冊の蔵書が読め、漫画スクールなどが体験できる施設

(2) 本市における課題

彦根市スポーツ・文化交流センターが令和4年6月に竣工し、12月に開館予定となっている。まちなか交流棟の中には、図書スペースが設けられており、一部漫画の設置が予定されている。特色ある内容とするため、北九州市漫画ミュージアムを視察する。

【2. 調査結果】

日時：令和4年4月21日（木） 午前11時～午後0時30分

場所：北九州市漫画ミュージアム

研修項目：漫画を見る！読む！描く！漫画の施設について

(1) 内容

北九州市は、九州の最北端に位置する国際産業貿易都市である。人口は約94万人を擁し、日本の四大工業地帯のひとつとして近代化を支えてきた歴史がある。

11時の開館と同時に訪問し、ミュージアムの担当者から約1時間半説明を受ける。ミュージアムは、3つのテーマで楽しめるを基本として「見る」「読む」「描く」となっている。

見る…漫画のしくみを楽しく学べる！

読む…7万冊の漫画が読める！

描く…漫画スクール・漫画体験で漫画やイラストが描ける！

北九州市では、関谷ひさし氏、松本零士氏、わたせせいぞう氏、畑中純氏、陸奥A子氏、北条司氏など北九州ゆかりの著名な漫画家が数多く誕生した。

これらの作家や作品は、北九州市が誇る大切な財産であり、この財産を生きた形で次代に伝え、漫画の特性や魅力を広く発信するため、2012年8月3日に北九州市漫画ミュージ

アムが開館した。

館内は、

- (1) 北九州発・銀河行き～松本零士を産んだ街～
- (2) 漫画の七不思議
- (3) 漫画の街・北九州
- (4) 漫画タイムトンネル
- (5) 漫画こぼれ話
- (6) あしたのギャラリー
- (7) ソムリエコーナー
- (8) イベントコーナー
- (9) 閲覧（よむ）ゾーン

の九つのエリアに分かれており、子どもから大人まで楽しめる内容となっている。

常設の展示に加え、年に数回企画展を実施しており、高い人気を誇っている。視察当日も平日にも関わらず、多くの来館者で賑わっていた。

(2) 考察

日本の独自の文化である「漫画」に焦点を当て、北九州ゆかりの漫画家を中心に漫画専門の施設を展開している。北九州ゆかりの作家が、総勢100名以上いるという背景がある。北九州市は、門司港の国際貿易港としての繁栄等で、全国からたくさんの人が集まり、多様な文化が交流した。そうした中、文化芸術への好奇心や質の高いものづくりへの情熱が北九州に満ち溢れていった。また、経済的な発展を遂げた北九州に新聞各社が西部本社を設置したことで、いろいろな地方から漫画家が集まり、新聞紙面で創作の腕を磨く機会を得ていった。そうした素地があり多くの高名な漫画家が排出されていき、漫画ミュージアムの設立に至ったものと考えられる。

しかし、単にいままでの漫画を収集し展示するだけに留まらず、北九州国際漫画大賞を開催したり、「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政（finance）」という24頁の冊子にて難しい市の財政を誰にでもわかるように漫画で表現したり、「キタキュ↑親力アップ漫画」として「①幼児の子育て漫画②小学生の子育て漫画③中学生の子育て漫画」をスクロール漫画として配信したりと、漫画を活用した活動も活発に実施している。

彦根市でも、「彦根市スポーツ・文化交流センター」が令和4年6月に竣工し、12月には使用が開始される。建物の一部である「まちなか交流棟」には図書スペースが設けられており、一部に漫画が設置される予定である。北九州市漫画ミュージアムのような大規模な展示は難しいが、彦根市にゆかりあるものにちなんだ特色ある展示スペースとすべきである。

例えば、彦根市や滋賀県にゆかりあるスポーツに特化した展示内容としたり、戦国時代から幕末へかけた井伊家や石田三成等の武将を中心とした漫画を収集・展示したりと、ただ単に現代の話題の漫画を並べるのではなく、小さくとも一点集中主義にて特色のあるユニークな独特な内容となるものにするべく検討すべきである。

以上